
平成31年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成31年 3 月 1 日

質問者（質問順）

1 竹野内 猛 委 員（公明党）

2 荒 木 由美子 委 員（共産党）

3 山 本 たかし 委 員（自民党）

4 坂 本 勝 司 委 員（民権フ）

総 務 局

局 別 審 査

1 竹野内 猛 委員（公明党）

1 効率的・効果的な行政運営について

- （１）事業見直しの取組状況と効果について伺いたい。
 - （２）他政令市と比較した本市の職員数の状況について伺いたい。
 - （３）31年度の執行体制づくりの考え方について伺いたい。
- （要望）行政運営に当たっては、今後も不断の事業見直しを進め、市民サービスの向上と効率的・効果的な行政運営の両立を図っていただきたい。

2 危機管理室に係る機構改革について

- （１）危機管理室４課の体制を見直す背景について伺いたい。
- （２）危機管理室の業務の見直し内容について伺いたい。
- （３）防災企画課と地域防災課の新設による危機管理機能の強化内容について伺いたい。

3 自助・共助の取組について

- （１）防災・減災推進研修の内容について伺いたい。
- （２）研修受講者の感想について伺いたい。
- （３）防災・減災推進研修を更に積極的にアピールし、推進していくべきと考えるかどうか。

4 地域防災拠点の機能強化について

- (1) 31年度の生活用品更新の取組内容について伺いたい。
- (2) 地域防災拠点から回収した生活用品についても、備蓄食料と同様に有効活用すべきと考えるがどうか。
- (3) 発災時の液体ミルクの活用予定について伺いたい。
- (要望) 液体ミルクは、大規模地震等の発災直後の混乱の中では、非常に重宝すると思われるので、実用的な検討を進めていただきたい。
- (4) 段ボールベッドの配置状況と30年度の訓練における活用状況について伺いたい。
- (5) 段ボールベッドの認知度を上げ、発災時に有効に活用するための工夫が必要と考えるがどうか。
- (6) 補充的避難所の位置づけについて伺いたい。
- (7) 補充的避難所としての県立高等学校の活用に向けた今後の取組について伺いたい。

5 危機管理システム等更新事業について

- (1) 現在運用中のシステムの課題について伺いたい。
- (2) システム更新の基本となる考え方について伺いたい。
- (3) 新システムの機能について伺いたい。
- (4) 新システムの円滑な運用に向けた準備について伺いたい。

6 防災スピーカーの整備について

- (1) 防災スピーカーの整備を新たに事業化した理由と必要性について伺いたい。
- (2) 新たに設置するスピーカーの放送内容について伺いたい。
- (3) 設置に合わせてスピーカーの設置効果を高めるための取組を進めるべきと考えるがどうか。
- (要望) 災害への備えは待ったなしであり、更なる危機感、切迫感、スピード感をもって、取組を進めて頂きたい。

2 荒 木 由美子 委員（共産党）

1 浸水想定区域内に設置されている防災備蓄庫について

- （１）鶴見区と港北区における地域防災拠点数と浸水想定区域内にある防災備蓄庫数について伺いたい。
- （２）浸水被害により防災備蓄庫が使えなくなることへの対策について伺いたい。
- （３）浸水想定区域内の住民が近隣の地域防災拠点に避難するまで応援を待つことが可能なのか見解を伺いたい。
- （４）浸水想定区域内にある防災備蓄庫にある備蓄品が使えなくなるということはないのかについて伺いたい。
- （５）地震の想定だけではなく浸水の想定が加わったので、計画を立てて安全な場所に備蓄庫を移すという考えもあってもよいと考えるがどうか。

2 避難確保計画作成等の進捗状況について

- （１）浸水想定区域及び土砂災害警戒区域内の要援護者施設における避難確保計画作成の報告状況について伺いたい。
- （２）作成・報告率の100％達成に向けた今後の考えについて伺いたい。
- （３）作成・報告率の低い私立学校、幼稚園への対応について伺いたい。
- （４）小さい子供がいる学校、幼稚園は、早急に100％達成となるよう、県との連携を進めるべきと考えるがどうか。

3 防災スピーカーの設置について

- (1) 31年度に設置を予定する42か所の防災スピーカーの設置場所はどこか。
 - (2) 中期計画で想定する190か所の設置を前倒しして実施する考えはないのか見解を伺いたい。
 - (3) 最終的に地域防災拠点459か所すべてに防災スピーカーを設置する考えはないのか見解を伺いたい。
- (要望) 190か所の設置にとどめることなく、設置場所を広げること検討していただきたい。

4 家具転倒防止対策助成事業について

- (1) 31年度予算における事業費増額の内容について伺いたい。
- (2) 家具転倒防止器具の取付けが進まない理由について伺いたい。
- (3) 当該事業は借家にお住まいの方にも有効と考えているが、どのような世帯に対策を強化していくのか伺いたい。

5 災害時のストーマ用装具の保管場所について

- (1) 災害時に備えたストーマ用装具の保管場所の提供状況について伺いたい。
 - (2) 必要としている方の居住している地域に保管できるよう改善すべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (3) 改善できる要望であるため、健康福祉局と調整していただきたいと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) ストーマ用装具の保管場所を増やすことについては、改善できることだと思うので、すぐに対応していただきたい。

6 横浜市民危機管理アンケート調査・避難者動向調査について

- (1) 横浜市民危機管理アンケート調査の結果から見える「食料と水の備蓄」と「避難訓練の参加」に関する課題について伺いたい。
- (2) 食料と水を十分に備蓄していない状況や若年層の方が避難訓練に参加しない状況への対策について伺いたい。
- (3) 逃げ遅れゼロの実現に向けた動向調査の内容について伺いたい。
- (4) 避難勧告発令をした区域にお住まいで避難したくても出来なかった方への対応が課題だと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 避難情報の伝え方や避難誘導の方法について工夫すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 土砂災害警戒区域内に住む方々への対応策について、一刻も早く解決策を見出していただきたい。

7 会計年度任用職員について

- (1) 会計年度任用職員と嘱託員など従来の非常勤職員との違いについて伺いたい。
- (2) 会計年度任用職員制度に移行することによる課題について伺いたい。
- (3) 嘱託員の配置が多い区と局の職場について伺いたい。
- (4) 人口1,000人あたりの職員数を政令指定都市間で比較した場合の本市の状況について伺いたい。
- (5) 嘱託員は採用後4回まで雇用期間を更新できるが、その後のリスクについて伺いたい。
- (6) 正規職員と比べて昇給しないなどの格差がある中、正規職員と全く同じ業務をしている嘱託員の在り方は、効率的といえるのか見解を伺いたい。
- (7) 職員配置は会計年度任用職員ではなく、まずは正規職員で確保するというのが本来の在り方だと考えるがどうか。

1 新市庁舎整備について

- （１）新市庁舎しゅん工まで１年を切った中での主な課題について伺いたい。
- （２）移転のスケジュールについて伺いたい。
- （３）移転についての市民への周知方法について伺いたい。
- （４）新市庁舎ができることの市民や事業者にとってのメリットについて伺いたい。
- （５）新市庁舎で働く職員自身も、おもてなしの心をより一層持って取り組んでほしいと考えるかどうか。

2 新市庁舎移転を契機とした内部事務の集約化について

- （１）内部事務の集約化のねらいについて伺いたい。
- （２）庶務デスクの検討状況と来年度の取組について伺いたい。
- （３）横浜市中心小企業振興基本条例の趣旨を踏まえた、具体的な対応の考え方について伺いたい。
- （要望）引き続き、市内中小企業への受注機会の拡大に向けて取り組んでいただきたい。
- （４）民間事業者への庶務デスク事業の周知方法について伺いたい。
- （要望）不明点がある場合の問い合わせ先を明確に案内するなど、不安の軽減に努めていただきたい。
- （５）新市庁舎の先も見据えた事務集約化の考え方について伺いたい。
- （要望）働き方改革の新たなステージの始まりという認識のもと、より良い職場環境を構築し、職員満足度と市民サービスの充実を両立するよう、取組を進めていただきたい。

3 文書管理・ペーパーレスの取組について

- (1) 新市庁舎に移転する局の文書保有量と整理状況について伺いたい。
- (2) 新市庁舎移転に向けた31年度の取組について伺いたい。
- (3) 職員にとって使い勝手の良い文書管理体制の検討状況について伺いたい。
- (4) ICTを活用したペーパーレスな働き方の推進に向けた取組について伺いたい。
- (5) 移転に向けた取組にリーダーシップを発揮していくべきと考えるがどうか。

4 職員の人材育成について

- (1) 本市の人材育成の考え方について伺いたい。
- (2) 職員の人事考課のプロセスについて伺いたい。
- (3) 職員が成長を感じられるようにするための取組について伺いたい。
- (4) 職員の人事異動に向けてのプロセスについて伺いたい。
- (5) 仕事と家庭生活の両立を支援するための取組について伺いたい。
- (6) 男性の育児参画を一層進めていくための考え方について伺いたい。
- (7) 責任職に対する人材育成の取組について伺いたい。
- (8) 地域活動への理解促進を人材育成の柱のひとつとすべきと考えるがどうか。

5 地域防災力の向上について

- (1) 横浜市民危機管理アンケート調査での「自助・共助」の認知度の割合と前回調査からの推移について伺いたい。
- (2) 横浜市民危機管理アンケート調査での「食料・飲料水の備蓄状況」や「家具の転倒防止器具の設置状況」の割合と推移について伺いたい。
- (3) 市民の「自助」の充実に向けた取組について伺いたい。
- (要望) 市民の「自助」「共助」の認知度が高まっている今こそ、区役所の防災訓練等の機会を活用し、各種事業の周知啓発を進めていただきたい。
- (4) 危機管理・地域防災担当係長が各区2名体制となることの効果について伺いたい。
- (5) 地域特性に応じた防災・減災対策の推進方法について伺いたい。

6 改正災害救助法への対応について

- (1) 救助実施市制度における包括都道府県の広域的な役割について伺いたい。
- (2) 主体的な救助実施のための県との調整方法について伺いたい。
- (3) 国の災害救助体制の一角を担うことに対する所感について伺いたい。

4 坂 本 勝 司 委 員（民権フ）

1 職員の健康管理について

- （１）健康診断で「要注意」と判定された職員の状況について伺いたい。
- （２）移転後は、新市庁舎ならではの職員の健康づくりが必要と考えるがどうか。
（要望）心身の健康サポートを行うなど、新しい市庁舎で「健康市役所」を実現していただきたい。

2 新市庁舎整備について

- （１）什器調達の基本的な考え方について伺いたい。
（要望）必要な什器については、しっかり整備し、職員の新しい働き方を後押しする環境を整備していただきたい。
- （２）新市庁舎に転用しない什器の扱いについて伺いたい。
（要望）什器は、出来る限り有効活用するよう、関係部署等と連携を密に図りながら計画的に進めていただきたい。
- （３）新市庁舎開庁に向けた31年度のネットワーク関連の主な整備内容について伺いたい。
- （４）庁内の各種システムの移転に向けた検討状況について伺いたい。
- （５）移転に向けた現在の準備状況について伺いたい。
- （６）多くの人に新市庁舎へ足を運んでいただけるよう、地区の回遊性向上につながる工夫が必要と考えるがどうか。

3 災害救助基金について

- （１）災害救助基金の必要額を一括で積み立てる考え方について伺いたい。
- （２）追加の予算措置の可能性について伺いたい。
- （３）救助費用に対する国の財政措置の程度について伺いたい。
- （４）救助費用が積立額を超過した場合の対応について伺いたい。

4 防災スピーカーの整備について

- (1) 整備を計画している防災スピーカーの性能について伺いたい。
- (2) 既存システムの活用の内容と効果について伺いたい。
- (3) 防災スピーカーは、すべての区役所に設置されるのかについて伺いたい。
- (4) 地域防災拠点と消防出張所に設置する理由について伺いたい。
- (5) 防災スピーカーを設置する地域防災拠点や消防出張所の選定方法について伺いたい。

5 家具転倒防止対策について

- (1) 各年度の助成件数について伺いたい。
- (2) 今年度の助成件数が増加した理由について伺いたい。
- (3) 実施率向上に向けた今後の取組について伺いたい。

6 地域の防災担い手育成事業について

- (1) 防センアカデミーの狙いについて伺いたい。
- (2) 防センアカデミーの受講者を地域での活動に結び付けるための取組について伺いたい。
- (要望) 一人でも多くの方が防災・減災の活動に取り組めるよう啓発を進め、少しでも被害が軽減されるよう、市としてしっかりと取り組んでいただきたい。

7 高等学校の災害時の活用について

災害時の市立、県立など高等学校の活用について伺いたい。